

# 鶴見川出張所だより

京浜河川のHPは <http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/>

国土交通省関東地方整備局  
京浜河川事務所  
鶴見・新横浜出張所発行  
(代表) 鶴見出張所  
電話 045-501-3038  
2013年04月12日【創刊号】

## 鶴見出張所と新横浜出張所から鶴見川の情報発信していきます

4月1日の人事異動にて、私たちが鶴見川を管理する出張所長に赴任しました。

- ・鶴見出張所長 上林喜美夫
- ・新横浜出張所長 林 健二

今年の3月まで新横浜出張所で発行していた『新横浜出張所だより』に、鶴見出張所管内の情報を加えて、2つの出張所で『鶴見川 出張所だより』として、新たに発行していくことにしました。

皆さんに役立つ鶴見川の情報発信していく予定です。管理している範囲は、下の図面のとおりですが、どちらでも気軽に声をかけて頂ければ対応させていただきます。よろしくお願ひします。

鶴見川の末吉橋（川崎市幸区小倉、横浜市鶴見区上末吉）から第三京浜橋梁（横浜市都筑区川向町、港北区小机町）および矢上川 1.8 km、早淵川 1.6 km、鳥山川 1.9 km の範囲の管理を担当しています。



新横浜出張所

鶴見川の河口（横浜市鶴見区末広町、鶴見区大黒町）から末吉橋（川崎市幸区小倉、横浜市鶴見区上末吉）の範囲の管理を担当しています。



鶴見出張所

### 新横浜出張所管内



### 鶴見出張所管内



# 港北区樽町2丁目、3丁目の河川敷道路整備工事が完成しました



今年1月中旬から施工していた港北区樽町2丁目、3丁目の新幹線アンダーパス工事は、3月末に完成し解放されています。

沿川の皆さんや樽町公園を利用される皆さんには、ご理解とご協力を頂き、ありがとうございました。

この工事は、昨年（平成24年）3月に完成した鶴見区駒岡4丁目の鷹野大橋下流側から鶴見川河川敷に降りられるスロープから港北区新横浜3丁目まで繋がっている河川敷道路に、緊急用物資等を積んだ大型車両が走るため整備しているものです。橋梁の下を横断する部分の桁下高が十分に確保されていない箇所を鷹野橋人道橋と鷹野大橋と同様、桁下高を3.8m確保したものです。

# 鶴見川が増水し4月6日夜半に鶴見川多目的遊水地に流入しました

鶴見川流域は、急速に発達した低気圧の通過により、4月6日の夜から深夜にかけて、大雨（荏田雨量観測所で163mm、時間最大59mmなど）となりました。この影響で、亀の子橋水位観測所では避難判断水位（6.70m）を超える6.77mを記録しました。

この出水により鶴見川多目的遊水地では、6日23時22分から流入が始まり、約3時間後の7日2時28分まで続きました。

今回は、平成16年10月9日台風22号に次ぐ、史上2番目の流入量（約92万m<sup>3</sup>）を記録し、亀の子橋地点で約60cmの水位低効果があったと推定されます。

詳しい出水状況は、京浜河川事務所のホームページをご覧ください。



鶴見川が増水した水が越流堤を超えている写真

## あ と が き

鶴見出張所と新横浜出張所で話し合い、お互いの管内の情報を1つの新聞として情報発信して行くことにしました。

4月号を作ってみて、やはり中流部の記事の方が多くなりそうです。

鶴見出張所の管内では、4月1日に鶴見川河口付近で沈没した船の引き上げ作業が行われたりといったこともありました。

皆さんに知って欲しい内容などのほか、河川利用者の皆さんから、よく聞かれる内容なども取り上げて行きたいと思っています。『新横浜出張所だより』同様よろしくお願ひします。

『鶴見川出張所だより』編集長（上林喜美夫）

## 鶴見川流域センターは鶴見川の情報を発信しています

JR小机駅の近くにある、地域防災施設『鶴見川流域センター』は、流域にお住まいの皆様への情報発信施設として、また、洪水や地震時の防災拠点となる施設です。

昨年度は、26,080の方が鶴見川流域センターを訪れています。

ここでは、鶴見川の治水の歴史、環境（水質や生き物など）だけでなく、どんな魚が棲んでいるのか実際にみることができます（ミニ水族館を設置）。時期によっては、鶴見川のアユも展示しています。

また、屋上からは鶴見川多目的遊水地などが一望できます。

【毎週火曜日が休館日です】

住所 横浜市港北区小机町2081

電話 045-475-1998

（鶴見川流域センター直通）